

社会的養護の当事者推進団体 なごやかサポートみらい

名古屋市北区西志賀町5丁目13-1

みらい通信

第9号 TEL(052)911-8523

FAX(052)912-7101

平成21年6月1日発行

HP <http://nagoyakamirai.web.fo2.com>

「みらい通信」は会員の皆様にお送りしているなごやかサポートみらいの広報誌です。

行政機関・名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県の児童養護施設・自立援助ホームにお送りさせて頂いています。広報誌は2ヶ月に1回(偶数月)に発行しています。

1. 草間吉夫茨城県高萩市長講演会開催について

[日 程] 平成21年7月12日(日)

12:30開場 開演13:00

[場 所] 名古屋市北文化小劇場

[主 催] なごやかサポートみらい

[共 催] NPO法人こどもサポートネットあいち

(名義後援5月19日現在)

[後 援] 愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市社会福祉協議会
愛知県社会福祉協議会

SBI子ども希望財団・朝日新聞厚生文化事業団・名古屋市四ツ葉の会

(現在申請中) 厚生労働省・名古屋市

[プログラム]

(第1部) 草間吉夫(茨城県高萩市長)講演 「ひとりぼっちの私が市長になった！」

(第2部) VOXRAYライブ(特別企画)

施設入所児童によるミニライブ(特別企画第2弾)

ご来場はなるべく公共交通機関をご利用下さい。また車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用下さい。

講演会参加施設とみらい会員の方で参加する方には、6月下旬から7月上旬に入場券と座席表を発送致します。なお、会場は行政機関・施設の子どもと職員につきましては全席指定席となります。



2. 【特集】名古屋市若松寮を訪問して

なごやかサポートみらい 副会長 関戸敏夫

今年3月に若松寮に施設訪問しました。平成9年に愛知県尾張旭市から名古屋市名東区に移転し、より家庭に近い環境で育てようという狙いから、子供10人と職員4人を1ホームとし、新しい形態の児童養護施設を実現していました。定員40人でA・B・C・Dとホームが4つあり、子供達はホームごとに分かれて生活しています。各ホーム内にはダイニングキッチン、お風呂があり、小リビングにはテレビがありました。別の建物にある厨房で専門の調理員が作った食事を決まった時間に取りに行きホームごと皆で食べます。子供部屋は幾つかあり、1人部屋と2人部屋がありました。この様に一般住宅に似た造りで、一般家庭のように感じました。私が一番驚いたのが、男子と女子が共同で生活していることです。職員の方に聞いた所、始めは色々問題もあり大変だったようですが、今は子供たちも環境に慣れ違和感なく生活しているようです。普通に考えれば一般家庭の場合、兄妹(姉弟)がいる家庭では家族皆、男女共同で生活している訳ですし、若松寮の場合に至っては、分け隔てなく子供達を育てようという思いがこの様な生活形態に繋がっていると私は思います。子供達にとっても同じホームで一緒に生活している子を兄妹(姉弟)のように感じているのではないかと思います。私として嬉しかった事は移転しても私の事を知っている職員が残っていた事、今生活している若松寮の子供の担当職員が基本的に決まっているという事です。私は高校時代、授業参観の時、いつも違う職員が来た為、その都度どうい関係か友達に聞かれ、複雑な心境だったのを覚えています。当時、私はプライドが高かったのか、理由を言いたく無かったのです。今の若松の養護指針「子供たち一人ひとりを大切にし、心の安らぐ、安定した、愛情に満ちた人間関係と生活基盤が維持されるような養護を実践し、児童の権利に関する条約の精神を尊重し、子供の人権を守るとともに、子供の最善の利益が尊重されるような養護をめざします」に沿って職員一丸となっているからこそ、細かい所までケアが行き届いているのではないかと思います。最後になりましたが、現在若松から高校に通っている女生徒に話しを聞いたところ、施設出身者という事にコンプレックスをまったく感じていないとのことでした。明るく元気で自分に自信を持っていました。とても素敵な事だと思います。若松の職員の方々の努力が報われていると感じました。若松の子供達皆、本当にすくすく育っているなと思いました。私が育った頃の養護施設の窮屈だった面影はありませんでした。

3. みらいの専用電話を開設しました。

6月2日からなごやかサポートみらいの専用電話を開設しました。お問い合わせは下記までお電話下さい。

TEL (052) 911-8523 FAX (052) 912-7101
- 2 -

4. 平成21年度 学習会のご案内

ハミングバード・チャリティー一般財団法人様のご支援により、今年度3回学習会を開催

致します。

平成21年度

みんなで学ぼう!茶話ごー!わくわく集会のご案内

社会的養護の当事者推進団体 なごやかサポートみらい

会 長 清水 真一

事業部長 蛭 沢 光

社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらいでは、下記の内容で年3回（6月、9月、1月）に学習会・茶話会を予定しております。

このわくわく集会は、施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童自立支援施設など）・里親出身者が経験してきたことを大いに語る場です。また未来の児童養護のためにも当事者または未来を創っていく若者（大学生等）同士が自分たちのおもいや考えを本気で交わし合っしてほしいと思います。そして、そこから見えてくる様々な問題や課題を共有し、子どもたちが育つにはどんな環境が必要なのか、周りにいる大人に何ができるのかを児童養護（家庭も含む）という広域な視野で捉えると同時に、みんなでなごやかな雰囲気研鑽できたらと願っています。

申込み・問い合わせは なごやかサポートみらい TEL (052) 912-7101 (6月1日まで)
TEL (052) 911-8523 (6月2日から) FAX (052) 721-6490

携帯電話 090-4197-8592 (蛭沢) までお願いします。

- ・ 実施日時 13:00~16:00
- ・ 参加費 (会員は無料です。未会員は資料、お菓子・飲み物代として300円徴収します。)
- ・ 定員 30名 定員になり次第締切りとなります。
- ・ 内 容 ※開催日については会場と講師の予定により変更する場合があります。

茶話会終了後、希望者の方は、会場施設の見学を予定しています。

ホームページアドレス <http://nagoyakamirai.web.fc2.com>



日 時/会 場	当事者・現場職員からの経験談	資料学習 (ゲスト講義)	茶話会
第1回 6月21日 名古屋養育院	川岸 慰隆さん 平安養育院出身・精華学院職員 小坂 徳矢さん 松本児童園出身	喜多 一憲先生 中部学院大学 児童福祉法改正について	家庭・家族って なんだろう? 茶話会後に、希望者は施設見学ができます。
第2回 9月27日 那爛陀学苑	関戸 敏夫さん 若松寮出身・飲食店経営 福安 英文 岡崎母子生活支援施設いちょうの家職員	遠藤 由美先生 日本福祉大学 子どもの貧困について	子どもが育つには? 児童養護施設と里親 茶話会後に、希望者は施設見学ができます。
第3回	西井 竜二さん	高井 篤さん	自立するって

1月31日 和進館児童ホーム	池島寮・里親出身 坂部 望さん 刈谷児童相談センター児童福祉司	松風荘施設長・里親 里親の現状と課題について	どうということ？ 茶話会後に、希望者は施設見学ができます。
-------------------	---------------------------------------	---------------------------	----------------------------------

各会場は駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい。交通機関についてはホームページでご案内致します。

5. 平成21年度 施設入所児童対象 なごやかサロン（茶話会）

本事業は財団法人SBI子ども希望財団様の助成金により開催されます。

昨年度2月に第1回目の施設入所児童対象なごやかサロンを開催致しました。

今年度は、2回予定しています。おやつを参加者と一緒に作って食べながら、施設での話や将来のことについての悩みや相談をみんなでしましょう。開催日については、当初6月を予定していましたが日程の調整が出来ないために9月と1月を予定しています。

本事業の施設入所児童対象なごやかサロンでは、自立支援の目的と施設を退所した時に少しでも困らないようにミニ学習会も予定しています。学習会と言っても楽しく学べる学習会です。是非、ご参加下さい。詳細が決まりましたらFAXで各施設にご案内させていただきます。

6. みらい総会の報告

- 開催日 平成21年 4月19日 10時～12時
- 場所 日本福祉大学名古屋キャンパス 北館
- 議長 関戸敏夫
- 参加者 13名 会員総数86名 委任状38名 総会成立数 51名

運営規定 第19条第1項に基づき総会は成立致しました。

みらいの総会議事録は会員の方のみ郵送で報告させていただきます。

！ 平成21年度 みらい組織体制について

会 長 清水真一（NPO法人こども絆^o-トネットあいち監事に平成21年5月から就任）

副会長 関戸敏夫 監事 川岸慰隆 ・ 喜多一憲

— 4 —

今年度から組織体制を事務局と事業部にしました。

[事務局]

事務局長 清水真一（会長がしばらくの間兼務） 局長補佐・会計 堀場純矢

事務局 千坂克馬（NPOこども絆^o-トネットあいち） ホームページ 宗吉正晃

- ・当会の事務局（窓口として）事務に関すること会計・広報誌作成・ホームページ管理等を行う。

[事業部]

- 事業部長 蝦沢 光 事業部長補佐 岩田正人
学習会担当 小塚光夫 相談事業担当 澤村真由美 ・ 成田雄也 ・ 吉村美由紀
・ 当会の事業に関する企画・実施を行う。

協力団体としてNPOこどもサポートネットあいち

総会後に、今月からハミングバード・チャリティ一般財団法人様よりお話がありまして当会の運営に対しまして協力団体になって頂けました。これから宜しくお願い致します。

” 平成21年度 事業計画

- 4月 会計監査・みらい総会
- 6月 第2回施設入所児童対象なごやかサロン（9月に変更）・第1回学習会
- 7月 草間吉雄（茨城県高萩市長）講演会 「ひとりぼっちの私が市長になった！」
- 8月 C V V（大阪）当事者団体交流事業に参加
自立宿泊研修（名古屋市子ども青少年局自立支援室）委託事業
- 10月 第2回 学習会
- 11月 第3回施設入所児童対象なごやかサロン（1月に変更）
子ども虐待防止オレンジリボン鎮魂集会（東京）
- 12月 クリスマス会（施設訪問事業）・みらい忘年会
- 1月 講演会事業（里親に関する）（2月に変更）
- 3月 施設退所児童記念品贈呈事業（名古屋市・愛知県・岐阜県）
退所児童を祝う会（施設訪問事業）

★施設訪問は随時で施設からご依頼がありましたら当事者会員が伺い入所児童に自立支援を目的としたお話などを当事者の立場でお話をさせていただきます。また、施設の行事にボランティアなどで参加させて頂いています。

★運営会 毎月第2木曜日（都合により変更する時もある）

★なごやかサロン（毎週1～2回程度）NPO法人こどもサポートネットあいち事務所内

7. なごやかサロン(相談事業)

週1回～2回程度、NPO こどもサポートネットあいちの事務所で電話相談や来所して頂き直接相談に応じています。当会の当事者(相談員3名)が順番で行っています。生活相談や就労相談などを行っています。お時間のある時には、お気軽にお立寄り下さい。お茶なども提供させていただきます。来所される時は事前にご連絡下さい。

— 5 —

サロン実施日は、当会へご連絡頂くか、みらいのホームページをご覧ください。

事情により変更等することがありますので予めご了承下さい。

ホームページ <http://nagoyakamirai.web.fo2.com>

8. 事業予定

6月 7日(日) 交流事業 当事者団体 こもれび (千葉) 発足1周年記念

6月11日(木) 運営会 19:00~21:00 場所未定

6月15日(月) NPO法人こどもサポートネットあいち キャンプ下見 (若狭)

6月21日(日) みんなで学ぼう! 茶話ごー! わくわく集会 (学習会)・施設見学
13:00~16:00 名古屋養育院

7月12日(日) 草間吉夫講演会 名古屋市北文化小劇場 13:00~16:00

その他の予定は随時ホームページでご案内致します。

9. 平成20年度 収支決算書 (平成20年6月~平成21年3月)

平成20年度 (発足前からの繰越金を含む) の会計をご報告致します。

【一般会計】 収入の部		支出の部	
会費収入	300,500円	事務用品費	46,429円
寄付金収入	44,600円	通信運搬費	21,450円
雑収入 (繰越金)	3,100円	印刷製本費	15,543円
受取利息収入	44円	会議費	4,479円
		旅費交通費	44,210円
		広報費	1,470円
		講演会事業費	20,405円
		訪問事業費	5,445円
		相談事業費	1,534円
		雑費	3,890円
		積立金支出	50,000円 (定期預金)
収入合計	348,244円	支出合計	214,855円
普通預金残高	133,389円		
定期預金 積立金 (普通預金)		50,000円	
		退所児童記念品贈呈事業積立金	1,500円

[会員登録状況]

5月18日現在

学生会員 10名 一般会員 74名(内当事者運営委員 9名)

団体会員 5団体 合計会員数 84名・5団体

[寄付金] 当会にご寄付頂きありがとうございます。 葉山裕子様